

～下水道からのお願い～

グリーストラップ使用の皆様へ

飲食店やレストラン、ホテル、学校給食、病院等の厨房の排水には、大量の食材を調理して食器の洗浄をするため、多量の油分が含まれています。この油分を除去することなく下水道に流すと、宅内の排水管や公共下水道の汚水管を詰まらせることとなり、維持管理で大きな問題となります。

また、下水処理場や浄化槽の処理機能を低下させ、最悪の場合、処理水放流先河川の水質等に影響を与えることにもなります。

これらを防止するために、『グリーストラップ』を設置する必要があります。

油脂等はトラップ内にたまりますが、そのトラップの十分な維持管理、定期的な清掃を行わないと、トラップの機能を果たさなくなり、結局排水管の詰まりや、悪臭の発生、下水処理場や浄化槽の処理機能低下といった原因になります。

グリーストラップは、必ず定期清掃をするようにして下さい。

また、清掃の際、自分の排水管さえきれいになればいいと、公共下水道へ油脂分を流すと、公共下水道の汚水管が詰まり、自宅からの排水が流れなくなるばかりか、周辺住民の排水も流れなくなり、多大なる被害が及ぶ恐れもありますので、清掃にも十分気を使しましょう。

◆グリーストラップとその維持管理について

(飲食店業の方は必ず設置するものです。)
以下の管理を確実に行ってください。

- 1 バケツ(金網かご)に溜まったゴミは毎日清掃して下さい。
- 2 浮き上がった油脂やごみ(残さ)は、週1回程度除去して下さい。(量が多い時は、毎日)
- 3 グリーストラップの槽内の沈殿物は、月1回程度除去して下さい。
- 4 グリーストラップの清掃は2～3ヶ月に1回程度行って下さい。

※処理された排水によって、公共樹、下水道管等の下水道施設を油等により詰まらせ、又は破損させた場合、原因者に対し、その清掃又は修理に係る費用の全部又は一部を支払って頂くこととなります。

※毎年、1～2件は詰まりの報告を受けております。定期的に清掃し適切な維持管理を実施するようお願い致します。

お問い合わせ 経済課 管理グループ

電話 5-1116 (内線252・267)

告知端末機 5-8816

気象台一口メモ

地震に備えましょう

毎年9月1日は、防災の日です。これは1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなんでおり、この日を含む1週間は、全国各地で様々な防災訓練が行われます。

日本周辺では地震の発生が非常に多く、地球で発生する地震の10%程度が発生しており、いつどこで大きな地震が発生しても不思議ではありません。1995年(平成7年)1月17日に発生した阪神・淡路大震災、2011年(平成23年)3月11日の東日本大震災などでの地震や津波の恐ろしさは記憶に新しいものです。

宗谷地方も例外ではなく、近年は大きな被害をもたらす地震は起きていませんが、普段からの備えや、地震が起きた時どのように身を守るかあらかじめ想定しておくことが大切です。

【普段の備え】

- ・避難場所やハザードマップを確認する。家族間で緊急時の行動について話し合う。
- ・強い揺れで倒れないように家具を固定する。
- ・非常用の食料や水、ガスコンロ、懐中電灯や、電池の予備などを用意する。
- ・冬に備え、防寒具や使い捨てカイロなどを用意する。

【地震が起きたその瞬間】

気象庁では地震により強い揺れが予想されるとき、緊急地震速報を発表して、強い揺れが予想される地域をお知らせします。しかし、発表から揺れの到達までの時間は数秒から数十秒程度と短く、その短い間に身を守るための行動をとる必要があります。

- ・家にいるときは、すぐにテーブルなど丈夫なものの下に身を隠す。あわてて外に飛び出さない。
- ・自動車を運転しているときは、あわてずゆっくり速度を落として停車する。
- ・屋外にいるときは、ブロック塀の倒壊、看板や割れたガラスの落下などに注意する。
- ・海の近くにいるときは、津波に襲われる危険があるので、揺れが収まり次第、まず高い所へ避難する。

ここに挙げた例はほんの一例です。内閣府の「一日前プロジェクト」のホームページ(<http://www.bousai.go.jp/km/imp/index.html>)では、「災害の一日前に戻れたら何をするか」をテーマに、実際に地震の被害に遭われた方々の様々な体験談が紹介されています。自分の立場に置き換えて、ご覧いただくと備えの参考となります。

※稚内地方気象台ホームページアドレス
<http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>

※問い合わせ先

稚内地方気象台防災業務課
(電話:0162-23-2679)

